



Journal

第10号
2025(R7)年9月1日
山形県立寒河江高等学校
新聞部

インターハイ

総合優勝
カヤックフオア2000m
5000m
2冠

快挙



カヌー女子 寒高 初

悲願の優勝にゴール直後ガッツポーズをするカヌー部

8月1日から5日にかけて島根県で、インターハイのカヌー競技が行われた。カヌー女子団体競技において、カヤックフオア2000m・5000mで2冠を達成した。さらに、寒河江高校では初となる女子団体総合優勝に輝いた。これまでのカヌー部の功績と共に振り返りかえろう。

全国高等学校総合

体育大会カヌー競技

日時:8月1日～5日

於:島根県カヌーパーク

みまかカヌーMAI

【女子】

団体総合優勝

カヤックフオア

2000m決勝

第1位:

後藤茜寧(3)・

佐藤和佳(2)・

土田琳子(2)・

太田里桜奈(2)

カヤックフオア

5000m決勝

第1位:

後藤茜寧・佐藤和佳・

土田琳子・太田里桜奈

カヤックシングル

2000m決勝

第2位:

佐藤和佳

カヤックシングル

5000m決勝

第3位:

佐藤和佳

カヤックペア

2000m決勝

第6位:

土田琳子・太田里桜奈

カヤックペア

5000m決勝

第6位:

土田琳子・太田里桜奈

【顧問寸評】

よくがんばった!! 来年

も獲ろう!!

以下は選手からのコメントだ。

質問

①今の思いを教えてください。

②慣れない環境での大会だったと思います。

③メンバーに伝えたいことを教えてください。

後藤茜寧さん(3)・

①今のメンバーで優勝でき、嬉しい。

②休みときは常に日陰、移動の時は日傘をさす

など日に当たる時間をできる限り減らし、氷の

うを使ったり氷水に頭をつけたりして体を冷

やしました。また、会話

喜びを分かち合う4人 左上から時計回りに佐藤和佳さん、土田琳子さん、後藤茜寧さん、太田里桜奈さん



をしたり笑ったりして緊張をほぐし、楽しんで漕ぐことを意識しました。

③寒高カヌー部として一緒に漕いでくれてありがとうございました。これからも自分たちらしく笑顔で活動してください!

佐藤和佳さん(2)・
①フオアの優勝はとても嬉しかった。この4人で優勝できたことにも価値を感じている。みんなのおかげで、シングルで負けたことがとても悔しかった。しかし、全国でもトップの実力ということが自覚できた。これからもうと力をつけて来年のインターハイでは5000mと2000mで圧

カヌー部の軌跡

受け継ぐ思い

今年度カヌー部はインターハイ女子団体総合優勝という快進撃を見せた。そこで、新聞部は過去の新聞や賞状などを参考に、カヌー部や他の部の全国での優勝歴などを調べた。このコラムでは、その優勝した大会を紹介する。まず、カヌー部の功績につ

倒的優勝して絶対にシ

ングルで2冠する。

②チームの皆に協力し

てもらいながら生活のベ

スを整えることができた。

学校生活から気をつけて

きたが、体調管理は

睡眠、砂ぼこりがひど

かったためのどのケアを

徹底し、塩分補給を

取りすぎなくらい行い

何も異常なく過ごせた。

笑顔で自分の気持ちを

やわらげられた。コーチ

が自信をつけてくれた。

そして、自分を信じて

やり切れた。

③この結果はたくさん

の人ののおかげ。本当にあ

りがとう! 通過点なの

でこれからがんばろう。

絶対に負けません。私

が勝ちます。

ターハイではカヤックペア

女子が優勝を果たした。

寒高全体の全国大会

の結果では、1973年

に剣道女子団体がイン

ターハイで優勝、1999

年には国体で水泳少年

女子が1位となっている。

今回のカヌー部女子

団体総合優勝は、学校

全体でみて史上初で

ある。

カヌー部の次の目標

は国体だ。寒高の期待

の星として国体の舞台